

事例番号:370139

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第一部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

#### 3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 37 週 6 日 骨盤位のため予定帝王切開目的で入院

#### 4) 分娩経過

妊娠 37 週 6 日

時刻不明 陣痛発来

17:00 陣痛発来のため帝王切開により児娩出、骨盤位

胎児付属物所見 臍帯巻絡あり(2回)

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:37 週 6 日

(2) 出生時体重:2400g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.29、BE -2.6mmol/L

(4) Apgarスコア:生後 1 分 8 点、生後 5 分 9 点

(5) 新生児蘇生:実施なし

(6) 診断等:

生後 3 日 無呼吸発作の増加

生後 5 日 新生児痙攣の診断

(7) 頭部画像所見:

生後 6 日 頭部 MRI で両側側脳室の外側白質に卵円型の低信号域を認め、

## 低酸素性虚血性脳症の所見

### 6) 診療体制等に関する情報

(1) 施設区分: 病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師: 産科医 2 名、小児科医 1 名、麻酔科医 2 名

看護スタッフ: 助産師 1 名

## 2. 脳性麻痺発症の原因

(1) 脳性麻痺発症の原因は、入院となる妊娠 37 週 6 日までに生じた一時的な胎児の脳の低酸素や虚血によって中枢神経系障害をきたし、低酸素性虚血性脳症を発症したことであると考えられる。

(2) 一時的な胎児の脳の低酸素や虚血の原因を解明することは困難であるが、臍帯血流障害の可能性を否定できない。

## 3. 臨床経過に関する医学的評価 (2020 年 4 月改定の表現を使用)

### 1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

### 2) 分娩経過

(1) 妊娠 37 週 6 日に骨盤位のため予定帝王切開目的で入院した後の管理(分娩監視装置装着)は一般的である。

(2) 入院後に陣痛発来と判断し緊急帝王切開を実施したことは一般的である。

(3) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。

### 3) 新生児経過

(1) 出生後の新生児管理は一般的である。

(2) 生後 3 日に無呼吸発作が増加したため、評価目的で当該分娩機関 NICU に入室としたことは一般的である。

## 4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

### 1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

なし。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

胎児期に中枢神経系障害を発症した事例について集積し、原因や発症機序について、研究の推移が望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

胎児期の中枢神経系障害発症機序の解明に関する研究の推進および研究体制の確立に向けて、学会・職能団体の支援が望まれる。